

ポケモン×工芸展

美とわざの大発見

POKÉMON X KOGEI

Playful Encounters of Pokémon and Japanese Craft

2023年3月21日〔火・祝〕ー 6月11日〔日〕



第1報

開館時間：午前9時30分～午後5時30分 ※入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日

会場：国立工芸館 〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2

主催：国立工芸館、NHKエンタープライズ中部、読売新聞北陸支社

特別協力：株式会社ポケモン

制作協力：NHKプロモーション

掲載用問い合わせ先：050-5541-8600（ハローダイヤル）

ポケモンと工芸の真剣勝負が開く豊かな世界を体験！

企画趣旨

ポケモンと工芸、正面切って出会わせたとしたらどんな「かがく反応」が起きるだろう。

そこに本気で挑むのがこの企画の骨子です。

一見意外な組み合わせですが、案外この2者、共通項が少なくないのです。たとえば工芸の原材料や製造工程のエネルギーを挙げてみれば土や草や金属や、水に炎に電気など、そのままポケモンのタイプといっても通用するかのよう。さらにはポケモンを育ててわざを磨いたり、収集や交換といったシステムも工芸にかける作り手や愛好者の想いと重なるところが多そうです。

今回、工芸と出会ったポケモンは鳥肌が立つような実在感で登場し、ゲームやムービーの思い出の光景を豊かな物質感とともに更新していくでしょう。対してポケモンと出会った工芸は、外からの主題に刺激を受けつつ、本道を極め、ラディカルな相へと突き進みました。

ポケモン×工芸の攻略法は会場に立った人の数だけきっとあるはず！発見、体験、冒険のたどり着く先で出会うのは、可能性に満ちた皆さん自身の姿なのかもしれません。

展覧会のポイント

- ▶ すべて新作！人間国宝から注目の若手まで20名の作家が工芸の多種多様な素材と技法でポケモンに挑み、ひらめきと悶えと愉しみの中から生まれた約70点（予定）を初公開。
- ▶ 豊かな物質感と卓抜のわざが極めたポケモンと工芸それぞれの思いがけない表情を堪能。
- ▶ 鑑賞を深めるツールやプログラムを各種ご用意予定。
さまざまなアプローチ方法で発見や体験の喜びが倍增します。

出品作家：池田晃将、池本一三、今井完真、植葉香澄、桂盛仁、桑田卓郎、小宮康義、城間栄市、須藤玲子、田口義明、田中信行、坪島悠貴、新實広記、林茂樹、葉山有樹、福田亨、榊本佳子、水橋さおり、満田晴穂、吉田泰一郎 [五十音順]

出品点数：約70点（予定）

展示構成

1 すがた ～迫る！～

工芸のわざがポケモンたちを思いがけない物質のなかから呼び起こした。フォルムはもちろん、皮膚や毛並み、しぐさに表情、気配や出現の様相まで、ここに生息するポケモンたちは妙に新鮮。出会いの瞬間にそなえて五感を研ぎ澄まそう。

2 ものがたり ～浸る！～

ポケモンの世界観に工芸が挑戦した。進化や通信のワクワク感。旅の舞台へのあこがれ。そしていつもは固唾をのんで見守るだけだったわざのインパクト。ゲームやムービーの登場人物の気持ちになって体験しよう。

3 くらし ～愛でる！～

工芸は私たちの「こうだったらいいな」をかなえてくれるもの。その機能や装飾のマナーに今度はポケモンたちが挑戦した。うつわや着物に活躍するポケモンたちを目で追いかけてながら日々を慈しむ感覚を養って豊かな明日へとつなげよう。

広報用画像一覧（第1報）



ガスじょうポケモンのゴーストが、水蒸気の湧き立つ様子を表した古典文様たてわくに乗って出現。しなやかで光揺らめく絹地の効果で浮遊感が際立ちました。かくれ上手なゲンガーはゴーストの進化形。目を凝らして探してみてください。

図版No.2（下）

小宮康義《江戸小紋 着尺「ゲンガー・ゴースト」》2022年



可愛いだけじゃない！なんといっても「1まんボルトのでんきを あやつる」かみなりポケモン。怒ったらきつとヤバい。そして絶対カッコイイ。そんな作家のイメージから歩み出したサンダース。彫金の伝統技法と伝統モチーフから成るボディともの言いたげな瞳にシビれます。

図版No.1（上）

吉田泰一郎《サンダース》2022年

©2022 Pokémon. ©1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

©2022 Taiichiro Yoshida / ©2022 Yasuyoshi Komiya

撮影：斎城卓

上記画像No.1・2を広報用にご提供いたします。
ご希望の方は当館ホームページの画像提供システムよりお申し込みください。

<https://www.momat.go.jp/cg/ncm-photo>



〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2

<https://www.momat.go.jp/cg/>

アクセス：

バスにて

JR金沢駅兼六園口（東口）より

【北鉄バス】

3番乗り場：18系統に乗車、「広坂・21世紀美術館（石浦神社前）」下車徒歩7分

7番乗り場：どの系統でも乗車可、「広坂・21世紀美術館（しいのき迎賓館前）」下車徒歩9分

6番乗り場：乗車（「柳橋」行を除く）、「出羽町」下車徒歩5分

車にて

北陸自動車道金沢西ICまたは金沢森本ICから20～30分。

近隣に文化施設共用駐車場（無料）があります。

報道関係の方のお問い合わせ先

国立工芸館 展覧会担当／今井 広報担当／藤田・笹出・小島

Tel: 076-221-1955（広報直通） E-mail: koge-pr@momat.go.jp